

平成27年4月12日  
執行

# 徳島県議会議員一般選挙選挙公報

(板野選挙区)

徳島県選挙管理委員会

## 希望の持てる政治を実現します

### <人が好き、汗が好き>



自由民主党公認  
きみなみ  
**木南ゆきよし**  
(七十歳)

#### <略歴>

1944 (昭和19年)  
・養父に生まれる  
2001 (平成13年)  
・徳島県議 初当選  
2008 (平成20年)  
・総務委員会委員長  
2010 (平成22年)  
・議会運営委員会委員長  
2012 (平成24年)  
・広域連合特別委員会委員長  
2013 (平成25年)  
・徳島県水泳連盟会長  
2014 (平成26年)  
・徳島県議会副議長

今、国も地方も大きく変わろうとしています。地域活性化と人口減少対策も待ったなしで、地方創生にスピード感を持って向き合わなければなりません。防災・減災対策などの課題にも私達は対応しなければなりません。

次代を担う子どもたちの教育も重要です。希望と安心に満ちた社会を創り子や孫の代に送りたい、こんな思いを胸に深く抱きながらこれからの社会づくりにまい進します

「私のめざす三つの政策」

- 一、責任と信頼  
・誠実で政策を明確にするわかりやすい県政の運営
- 二、夢と希望  
・地場産業の振興と新産業の創出  
・未来を担う子どもたちのために心豊かに人間性を育む教育  
・伝統文化を守り芸術・文化の振興  
・スポーツの振興
- 三、安心と思いやり  
・将来の安心が見える福祉の充実を万全に  
・調和のとれた環境と開発  
・便利で安全、活気と楽しさのある町づくりの推進  
・農林水産業は国の礎(食の安全と安心、安定供給を守るしくみ)

## 「あたたかな政治」で未来をつくる

「地域の活力」は暮らしを育てます。私は、5つの新たなビジネスづくりに挑戦し地域住民が潤いを味わえる活力ある地域の発展に汗を流します。

### ① 足腰の強い農業振興を図ります

・先進的な農業地・研究者・施設等と連携し若手農家の育成と地域特有の農産物の継承と新商品・新ブランド開発研究費の創出

### ② 高齢者の元気、経験を活かした就労機会を整備します

・専門的知識を持つ高齢者による若手への技能継承の充実を図る

### ③ 子供を安心して「産める」「育てる」地域づくりに取り組みます

・短い時間から長い時間まで子育てのニーズにあった子供預かりと奥様コミュニケーション施設とイクメン養成の場の創設

### ④ 地方創生を目指した若者交流交差点を新設します

・Uターン・Iターン・Jターンで板野に呼び寄せる農商工、ハイテク、ITなど融合させた新しいビジネスの土壌づくり

### ⑤ 資源を活かしたエコな暮らし、健康づくりを支援

・地域の資源を活かした循環型社会の地域づくりに取り組みます

私は「人口10万人の板野郡には、豊かな平野、旧吉野川、豊かな漁場、そして利便な交通ネットワークと2つのIC、空港があり、産業や雇用環境も良好な地域社会を先人の努力で築いています。今、少子高齢化社会、都市と地方の格差が益々進行する中、先人が築き受け継がれた様々なポテンシャル(潜在能力)を、5つの町で「未来をつくる」目標の中、板野住民に役立ちます。



自由民主党公認  
**しんがい 浩司**  
ひろし

#### 公約

### ① 活力と魅力あふれるまちづくり

徳島のさらなる発展のために、地場産業の活性化や雇用の創出。広域交通ネットワークの整備や「徳島阿波おどり空港」の利活用を促進します。

### ② 安全で快適に暮らせるまちづくり

こころ豊かで快適な生活環境をめざし、防災減災対策・下水道・公園などを整備すると共に、南海トラフ巨大地震への的確な対応を図ります。

### ③ ひとにやさしい福祉のまちづくり

少子高齢化時代を迎え、医療・保険・子育て支援などの充実をはかり、安心して暮らせる高福祉の社会づくりと次代を担う教育の振興に取り組みます。

#### プロフィール

昭和18年2月生 城北高校・近畿大学理工学部卒業  
・自由民主党徳島県支部連合会副会長  
・近畿大学校友会徳島支部顧問  
・公益社団法人徳島県宅建協会顧問  
・公益社団法人徳島県環境技術センター顧問  
・社会福祉法人愛育会理事  
・徳島県ラグビーフットボール協会会長  
・板野郡空手道連盟会長  
・徳島県建築士会板野支部会員



## 確かな手腕で地域の未来を

# “創生”

All for the Future!  
未来のために今できるすべてを

#### 理念1 言葉ではなく実行します。

どんな立派な政策も実現されなくては何の意味もありません。  
「100の言葉よりひとつの実行」をモットーに、誠意をもって全力で行動します。

#### 理念2 ヒューマンイズムが原点です。

私たちのまわりには様々な問題が山積みです。  
意見の食い違いや利害が相反したりしてなかなか解決しません。どんな問題に対しても、人の心を思いやるヒューマンイズム<人間愛>を原点に始めます。

#### 理念3 気軽に声をかけてください。

一人だけの力には限界があります。多くの方のご意見や本音をお聞きして、その声を県政に反映することこそが大切な使命と考えています。

#### 理念4 地域の担い手として。

激動と変革の時代を迎えた今、見失われがちな地域の問題や暮らしの問題の担い手となって、どこまでもこだわっていくことをお約束します。



自由民主党公認  
きたじま  
かつや  
**北島勝也**

平成27年4月12日  
執行

# 徳島県議会議員一般選挙選挙公報

(板野選挙区)

徳島県選挙管理委員会

## 権力の横暴を許さず弱者を助けます 人間を大切に政治実現に一票を

[http://www.geocities.jp/as\\_fw\\_photo/index.htm](http://www.geocities.jp/as_fw_photo/index.htm)



無所属  
ふかわ  
**扶川あつし**  
(58歳)  
元県議 扶川敦無料生活相談所長

行政の監視と政策提案は議会の任務です。最も厳格にチェックすべき対象が警察や軍隊なら、最も配慮すべきは、高齢者、障がい者、母子家庭、生活困窮者、被災者等です。私は「人間を大切にする政治」をスローガンに、権力の横暴を許さず、弱者を助けます。

何千人から頂いた生活相談のテーマは、圧倒的に生活苦です。テロや戦争はもとより、身近な犯罪の背景に、貧困と格差があります。人類の生存にかかわる環境問題や何千万の命を奪う災害対策は待ったなしです。老後の安心や少子化対策、地域経済の活性化は、身近で切実なテーマです。

福島被災地支援行は、一八回になりました。どの問題でも、現場を歩いて議論します。

議会では、多数派がおごらず、少数派が意固地にならず、建設的な議論をすべきです。無所属の自由さを生かし、議会本来の役割を発揮を求めます。

### 私の重点政策

◆四国遍路を活用し観光振興◆  
高齢者の仕事づくり◆住宅耐震化と津波対策強化◆関税撤廃反対◆農林水産業支援◆保育料・医療費負担軽減◆全県で教室にクーラー◆国保税・介護保険料の負担軽減◆低所得者が借りやすい小口資金制度を全県に◆生活保護制度の運用改善◆県議会政務活動費を徹底透明化◆入札談合や無駄遣いのチェック◆伊方原発再稼働反対：等

## 高齢者・障害者・子どもたち・女性に やさしいまちづくりを目指す。



無所属  
**うすき 春夫**  
昭和二十二年五月二十八日生  
(六十七才)

### 決意

私は山の貧しい村に生まれました。周りの家も子だくさんで貧乏で溢れていました。それでも、誰にも引け目を感じず、子達が自然とたわむれ、地域は老人から学び、若者は目上を敬う、心豊かな人々の村でした。そこは老人の孤独死、幼児の虐待、いじめなど、全く無縁な社会でした。

### 〈私のお約束〉

一、高齢者、障害者の社会参加を

街や施設のバリアフリー化をすすめる、高齢者、障害者の能力を活用することで、高齢者の孤立化を防ぎ、障害者の自立を促進します。

二、子どもたち、女性にやさしい社会を

少子化に歯止めをかけるため、女性が働きながら子育て可能なまちづくりが急務です。乳幼児施設、託児所、保育所などの充実改善に全力で取り組みます。

三、格差社会の是正を

男女格差をなくし、女性の社会的地位向上と、積極的な社会参加を促します。限界集落買物難民、シャッター通り、無医村など、地域格差・経済格差の解消改善に努めます。

四、地場産業の発展を

県内企業の競争力強化と成長発展に向け、県内企業で働く人材確保に努めます。このため、高卒・大卒者の県内就職を意欲づける取組みを強めます。

五、災害に強いまちづくりを

地震、台風、水害に備え、避難所の確保をはじめ、防災組織・危機管理体制の確立、見直し、充実を図り、県民の生命・財産を守ります。

### 略歴

一九四七年 旧美馬郡宇村生まれ  
一九六三年 徳島バス株式会社入社  
一九七四～七六年 県立城南高等学校通信制普通科に在籍  
一九八一年 徳島バス労働組合執行委員長  
二〇〇一年 県議会議員初当選  
二〇〇三年 県議会議員再選  
二〇〇七年 県議会議員三選  
二〇一一年 県議会議員四選  
現在 徳島バス労働組合特別執行委員

## 戦争立法ストップ！

## 憲法9条を守ります

# 子育て・福祉・くらし優先の県政に



日本共産党  
**てづか 弘司**  
24年間、鳴門信用金庫勤務  
現在、党徳島地区副委員長  
54歳

### 「あいさつ」

「消費税増税ストップ」「原発は即ゼロに」「戦争だけはしてはいけない」「TPPストップ」などの声がまたに溢れています。力を合わせて、この声になんとしてもこたえたい——その思いが私を駆り立て、板野郡内を駆け巡っています。

ところが、県議会はオール与党で、安倍政権に追いついています。

あなたの願いをまっすぐ県政に届けて、実現をはかるてづか弘司に、大きなご支援を心からお願いいたします。

**実現します**  
みなさんと力を合わせて  
板野郡の願い実現に全力

■子どもの医療費を高校卒業まで無料に  
■小中学校の給食費、エアコン設置に補助を  
■国保税一人一万円の引き下げ

■県の住宅リフォーム助成制度の創設  
■地震・津波対策の充実。木造住宅耐震化補助を百十万円に

■原発ゼロ。住宅への太陽光発電の設置に助成を  
■道路・橋の改修、耐震補強を

■流域下水道の抜本的な見直し

**共決**  
安倍政権の暴走に  
地方からの審判を

くらしを守る活動や地域の住民運動での共同の力が政治を動かしています。安倍政権の暴走と一番対決できる日本共産党の議席が伸びてこそ、政治を動かす、県政を変えることができます。

若さ・情熱・行動力の

あなたのご支持をてづか弘司へ

<http://tezuka-jcp.com/>